

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月4日

上場会社名 名古屋電機工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6797 URL <https://www.nagoya-denki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 高明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中村 昭秀 TEL 052-443-1111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,993	7.8	59	28.5	63	△9.5	29	△58.6
2020年3月期第1四半期	2,777	—	45	—	69	—	70	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 75百万円 (20.9%) 2020年3月期第1四半期 62百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.04	—
2020年3月期第1四半期	12.26	—

(注) 2019年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第1四半期の前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	19,714	12,797	64.9	2,205.90
2020年3月期	20,153	12,866	63.8	2,217.82

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 12,797百万円 2020年3月期 12,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	7,232	9.1	△283	—	△264	—	△293	—	△50.51
通期	20,904	9.9	1,589	△6.0	1,705	△3.7	1,335	△7.1	230.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後の動向次第では大きく変動する可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	6,422,000株	2020年3月期	6,422,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	620,730株	2020年3月期	620,730株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	5,801,270株	2020年3月期1Q	5,770,010株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあります。先行きについては、各種政策の効果もあり、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待されております。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の影響については依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業であり、官需を主とする情報装置事業につきましては、公共事業は底堅く推移しており、また、老朽化したインフラの大規模修繕などもあり堅調に推移しております。そのような状況下、災害や事故発生時の安全対策設備などの新規提案を行い、各地域の協力会社とともに販路拡大を進めてまいりました。

一方、民需を主とする検査装置事業につきましては、企業の設備投資は弱含んでおり、受注獲得のため、他社製品との差別化競争は激しさを増しております。そのため、顧客ニーズに特化した製品開発に取組み、事業の収益改善に繋げてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高29億93百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益59百万円（前年同期比28.5%増）、経常利益63百万円（前年同期比9.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益29百万円（前年同期比58.6%減）となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末日現在の受注残高は154億13百万円となりました。

なお、当社の主要事業である情報装置事業の大半は、官公庁向けの道路交通に関わる情報装置関連であり、例年、売上高は第4四半期、特に期末に集中する傾向がありますので、第1四半期連結累計期間の収益は、相対的に低水準となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 情報装置事業

前連結会計年度の受注獲得案件により、LED式道路情報板や車載標識装置の売上、利益ともに堅調に推移しました。

この結果、売上高27億31百万円（前年同期比21.4%増）、営業利益2億70百万円（前年同期比34.5%増）となりました。

② 検査装置事業

3次元基板外観検査装置やはんだ印刷検査装置などの機能アップ提案による需要獲得を進めてまいりましたが、前期の大型案件の反動減により売上、利益とも低迷しました。

この結果、売上高2億62百万円（前年同期比50.3%減）、営業損失41百万円（前年同期は5百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は155億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億29百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が32億45百万円、仕掛品が5億73百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が42億50百万円減少したことによるものであります。固定資産は41億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億10百万円減少いたしました。これは投資その他の資産が1億円増加したものの、有形固定資産が2億99百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、197億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億39百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は68億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億67百万円減少いたしました。これは主に前受金が9億19百万円増加したものの、電子記録債務が6億54百万円、支払手形及び買掛金が2億27百万円、その他が4億38百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、69億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億70百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における株主資本は125億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少いたしました。これは利益剰余金が1億15百万円減少したことによるものであります。その他の包括利益累計額は2億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加いたしました。これは退職給付に係る調整累計額が7百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が54百万円増加したことによるものであります。

この結果、純資産合計は、127億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、当初予定どおり売上高209億4百万円、営業利益15億89百万円、経常利益17億5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益13億35百万円を見込んでおります。但し、現時点では新型コロナウイルス感染症の感染拡大による業績への影響は織り込んでおりません。今後、経済活動への影響が長引き、当社グループの業績に大きな影響がある場合、変更になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,098,570	7,344,146
受取手形及び売掛金	8,195,677	3,945,422
電子記録債権	340,715	359,859
商品及び製品	73,006	78,713
仕掛品	2,299,428	2,872,795
原材料及び貯蔵品	694,144	676,094
その他	78,674	273,556
貸倒引当金	△1,419	△804
流動資産合計	15,778,798	15,549,783
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,929,724	1,692,041
その他(純額)	711,178	649,427
有形固定資産合計	2,640,903	2,341,468
無形固定資産		
のれん	96,335	89,913
その他	110,185	105,194
無形固定資産合計	206,521	195,107
投資その他の資産		
投資有価証券	945,857	1,023,645
その他	581,519	604,463
投資その他の資産合計	1,527,376	1,628,109
固定資産合計	4,374,801	4,164,685
資産合計	20,153,599	19,714,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	979,213	751,381
電子記録債務	3,172,103	2,517,426
未払法人税等	245,749	102,616
前受金	958,837	1,878,130
賞与引当金	439,888	626,199
役員賞与引当金	54,333	8,574
製品保証引当金	92,079	111,731
工事損失引当金	109,343	126,409
その他	1,180,949	742,831
流動負債合計	7,232,498	6,865,299
固定負債		
退職給付に係る負債	22,855	22,795
その他	32,075	29,327
固定負債合計	54,930	52,122
負債合計	7,287,428	6,917,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,184,975	1,184,975
資本剰余金	1,105,345	1,105,345
利益剰余金	10,784,900	10,669,121
自己株式	△451,049	△451,049
株主資本合計	12,624,170	12,508,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178,739	233,351
退職給付に係る調整累計額	63,260	55,302
その他の包括利益累計額合計	241,999	288,653
純資産合計	12,866,170	12,797,046
負債純資産合計	20,153,599	19,714,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,777,069	2,993,897
売上原価	2,077,708	2,235,366
売上総利益	699,361	758,530
販売費及び一般管理費	653,383	699,468
営業利益	45,977	59,062
営業外収益		
受取配当金	12,723	11,452
不動産賃貸料	10,262	6,212
廃材処分収入	2,234	153
その他	4,814	6,600
営業外収益合計	30,034	24,419
営業外費用		
支払保証料	5,022	5,332
売上割引	—	5,951
減価償却費	1,090	—
事故関連費用	—	7,840
その他	29	1,097
営業外費用合計	6,143	20,221
経常利益	69,868	63,259
特別利益		
固定資産売却益	—	13,562
投資有価証券売却益	13,708	—
特別利益合計	13,708	13,562
税金等調整前四半期純利益	83,577	76,821
法人税、住民税及び事業税	15,823	90,233
法人税等調整額	△2,961	△42,665
法人税等合計	12,861	47,568
四半期純利益	70,716	29,253
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,716	29,253

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	70,716	29,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,434	54,612
退職給付に係る調整額	△14,362	△7,958
その他の包括利益合計	△7,928	46,654
四半期包括利益	62,788	75,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,788	75,907
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,249,270	527,798	2,777,069	—	2,777,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,249,270	527,798	2,777,069	—	2,777,069
セグメント利益又は損失(△)	200,988	△5,649	195,338	△149,361	45,977

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△149,361千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△149,361千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門及び研究開発部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,731,368	262,528	2,993,897	—	2,993,897
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,731,368	262,528	2,993,897	—	2,993,897
セグメント利益又は損失(△)	270,408	△41,695	228,713	△169,651	59,062

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△169,651千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△169,651千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門及び研究開発部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。